職員の不祥事防止に向けた行動指針

概要版

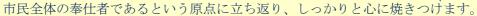
私たちは、市民全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行するという原点に立ち返り、不祥 事を二度と起こさないよう、職員そして組織が一丸となって全力で取り組むため、「職員の不祥事 防止に向けた行動指針」を策定しました。

今後、再び不祥事を起こすことのないよう、全庁を挙げて5つの取組の実践を推進します。

職員の不祥事防止に向けた行動指針

- ◆市民全体の奉仕者として、自覚と責任を持って職務に当たります
- ◆24 時間桐生市の職員であることを忘れず、高い倫理観を持って行動します
- ◆あいさつの励行と丁寧な接遇を心掛けます
- ◆取り扱う情報の重要性を認識し、守秘義務の履行を徹底します

行動指針を理解する





5つの取組を実践する

まずは、自分がすべきことを実践します。

そして、周りの人とともに実践することを着実に進めます。

- 1 職場から不祥事を出さないための取組
- 2 職員一人一人の倫理観を高める取組
- 3 管理監督者による取組
- 4 人事担当課による取組
- 5 自分自身を大切にし、他者を思いやることへの取組



自己点検と他者点検をする

「自分は行動指針を守って行動しているか」「私たちの職場はどんな状況か」を 自分と組織とで点検します。

改善する

点検の結果、気づいたことや必要なことは改善します。 大きな改善には管理監督者のリーダーシップも大切です。 改善したら終わりではありません。常に原点に立ち返りましょう。